

研修1日目タイムスケジュール

時間	カリキュラム	内容
9:30	受付開始	
9:55	開講挨拶	都道府県担当者より挨拶
	オリエンテーション	諸注意、事務連絡、講師紹介
10:00		はじめに
12:00	1章 高齢者が地域で暮らし 続けるための介護の理 解	1)地域での高齢者の暮らし テキストp1 (1)高齢者人口の動向 (2)高齢化の推移 (3)高齢者の世帯と暮らし (4)高齢者の身体的特徴と病気 2)認知症をもたらす病気 テキストp9 (1)認知症とは (2)認知症高齢者の現状 (3)認知症の原因と治療 3)認知症の人の特徴とたどる経過 テキストp13 (1)認知症の人のたどる経過 (2)認知症の症状 (2)認知症の人の状態や気持ち 4)これからの高齢者及び認知症の人の介護
	昼食休憩	
13:00	2章 認知症対応型 共同生活介護の 基本的理解	1)歴史 テキストp21 (1)認知症の人の気持ちに寄り添う (2)本人本位の認知症ケアとは (3)グループホームの誕生 2)特徴と役割 テキストp26 (1)寄り添う、つきあう、奪わない、断ち切らない (2)本人にとっての居心地のよい暮らし 3)制度の理解 テキストp31 (1)基準省令 (2)地域密着型サービスとしてのグループホーム (3)在宅介護の支援機能(ショートステイとデイサービス) (4)運営推進会議 4)現状と課題 テキストp40 (1)重度化する利用者への対応 (2)身体拘束・鍵をかけないケア (3)防火安全対策 (4)災害への備え
17:00	質疑応答	一日間の振り返り
17:30	退出	

研修 2 日目タイムスケジュール

時間	カリキュラム	内容
9:30	受付開始	
10:00	【3章】 サービス評価の 必要性和目的	1) サービス評価の目的 テキストp54 (1) サービス評価の目的とねらい
10:15		2) サービス評価の位置づけ テキストp55
10:30		3) サービスの質の確認 テキストp57 サービスの質を考える演習 DVD30分 ・個人ワーク8分、グループワーク35分、全体共有15分
12:00	昼食休憩	
13:00	【4章】 サービス評価の 流れと手続き	1) サービス評価の進め方 テキストp62 (1) サービス評価のしくみと流れ (2) サービス評価の進め方 (3) 家族アンケート (4) サービス評価の活用(効果)
13:30		2) 評価項目の内容と理解 テキストp70 (1) 評価項目
15:00		3) 評価調査員の具体的な手法 テキストp81 (1) 外部評価はプロセス(過程・方法)重視 (2) ヒアリングで事業所の取り組み、特徴を引き出す (3) 事業所が考える時間を大切にする (4) エビデンスの徹底確認 (5) 情報管理の重要性 (6) 「次のステップに向けて期待したい内容」の考え方
16:00		(7) 訪問調査実習の目的 ・実習目標個人ワーク10分、グループワーク20分 (8) 実習の流れ 説明 (9) 報告書の作成・提出 説明
17:00	質疑応答	本日より一日を通しての振り返りなど
17:30	退出	

研修4日目タイムスケジュール

時間	カリキュラム	内容
9:30	受付開始	
10:00	【6章】 演習を踏まえた 調査方法、 項目の理解	1)調査方法について テキストp98 (1)演習でよかったこと・手ごたえを確認しよう ・個人ワーク15分、グループワーク30分、全体共有15分 (2)実習での疑問点・問題点を整理しよう ・個人ワーク15分、グループワーク30分、全体共有15分
12:00		
13:00		2)評価項目の理解について テキストp103 (1)評価項目の振り返り (2)評価項目の理解を深めよう 最期まで自分らしく生きる DVD10分
15:30		3)報告書記入方法について テキストp104
16:30	質疑応答	研修全日を通しての振り返りなど
17:00	研修のまとめ	研修のまとめレポート作成 説明
17:30	退出	